

---

NARUTO妖忍伝 あやかしにんでん 百鬼殺しノ巻

XXX

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

NARUTO妖忍伝 あやかしにんでん 百鬼殺しノ巻

### 【Nコード】

N9697X

### 【作者名】

XXX

### 【あらすじ】

これは……魔の生き物『妖魔』を狩る為人知れず戦う者たち『忍』と、忍でありながらその血肉の半分が妖魔である少年『うずまきナルト』の物語である……（これは大人気連載中のジャンプ漫画『NARUTO』にクレイモアのような 妖魔もの の要素を取り入れた、完全パラレル作品です。NARUTOの平行ル作品が嫌いな方は閲覧しないことをオススメします）

## ナンバー1 忍の少年

東洋にある世界の先進国 大和 には五つの大国  
『火の国』 『風の国』 『水の国』 『雷の国』 『土の国』 が存在し、  
この『五大国』のおかげで大和の繁栄は7000年前から現代に  
至るまで続いている。

しかし時を遡ること7000年前。  
この五大国を滅ぼさんと、異形なる魔性の生き物『妖魔』が  
10億という軍勢で押し寄せて来た。

妖魔の軍勢を束ね率いるは『霸牙王・朱天堂璽 しゅてんどうじ』

彼の目的は人の世へ現界できない自分自身を現界させる為、  
大和の地下に眠る霊脈の多大なる強大なチャクラを得ることだった。  
しかし……10億もいた妖魔の軍勢は一匹の妖魔によって壊滅した。  
その妖魔の名は『ミナト』、本来の姿は九つの尾を持つ妖狐である為  
『九尾』という異名をもち、その強さは妖魔が蠢く世界『魔境』の  
隅々にまで伝わっていた。

妖魔の軍勢を一匹残らず討ち滅ぼしたミナトは、  
朱天堂璽と三日三晩も戦い続けた末。朱天堂璽を封印しその結果  
大和を救った。

多くの人々に感謝され、多くの人々を救ったミナトは  
どこかへと消え失せしまい、その行方を知る者はいない……………

木ノ葉の里……そこは火の国に存在し、人知れず魔なる存在  
『妖魔』が他に比べ数が多く。里の影に隠れて生きている。

中には人を襲う者もあり、そういう輩は大抵  
『あの男』によって討ち滅ぼされてしまう。

その名は『うずまきナルト』

表向きは便利屋を営んでいるが妖魔が絡んでいる  
通称『怪奇の依頼』が舞い込んだ際には一本の大刀『狐月』を  
振るい妖魔を狩りし者『忍』の素顔を曝け出す。

現在。彼は久々に舞い込んだ怪奇の依頼を受け、木の葉ノ里から  
十数キロ離れた場所にある炭鉱場に赴いていた。

炭鉱場は休日でもなければ夜でもないのに人影の一つも見当たらず、  
完全に無人と化している。そんな廃墟ではないのに廃墟同然の

炭鉱場を……ナルトは涼しい顔で歩いている。

すると赤いレンガで造られた建物が地震でも起きたかのように大きく揺れて崩れ去り、一匹の異形が姿を顕現させた。顔は人間の女性そのものだが、その身体は芋虫のようにブヨブヨとした肉塊その物。

その肉塊同然の身体の周りに数多くの人間の腕がひしめき合っているかと思えば、人間の男性の顔が妖魔の体全身に張り付いている……この妖魔の名は『百手監獄』。

百の数の手が外側と内部にあり、その肉塊のような身体に獲物を監獄の囚人のように閉じ込め、長い時間をかけて溶かしその溶けた人肉を啜る。はつきり言って恐ろしいものだがナルトは恐れることなく、百手監獄に歩み寄って来た。

4

『おやおや……わしがここに住み始めて2ヶ月、ここの作業員どもは私に恐れを成してどこかへ消え失せてもう誰も来ないかと思ったら……うまそうな坊やが来たもんだねえ』

彼女……百手監獄はその肉声で言葉を紡ぎ、

厭らしく舌を出しながらそう言う。だがナルトはそれを意に介さず挑発的な口調で自分の指を使い頭を叩く仕草を見せ

「アンタ、ここ大丈夫か？ そんな贅肉の付けてたら脳みそまでただの贅肉になっちまうぜ？ ミートババア」

ナルトはそう言いつた。ミートババアなどと馬鹿にされた百手監獄は激怒するどころか、面白い物でも見たように笑い出し改めてナルトを見据える。

『言ってくれるじゃないかい。これでも私は相手を見る目があつてね……あんたが忍でしかも、かなり出来るってことも十分に分かる。だからこそ……喰いがいがあるのさッ!』

口を一気に耳まで裂けるほどに大きく開き、鋭い二重にも三重にも連なる鋭い犬歯がナルトを襲う。しかしナルトは苦の一つもない余裕な表情で簡単に避け、背中に装備された一本の大刀『狐月』で百手監獄の身体を斬り裂く。

斬られた際に発生した痛みは電気のように身体全体に巡り百手監獄を苦しませる。だがこの程度でナルトの攻撃は終わらない。ナルトは精神エネルギーと肉体エネルギーで構成された『チャクラ』という力を狐月に注ぎ込み、刀身が赤いチャクラの光を帯び始めた。そしてそれを斬撃として繰り出し放った。

たった一つの放たれた三日月状の赤い斬撃は、百手監獄の顔を始めに斬り裂き、そのまま身体ごと真っ二つに斬り裂いた。

『あああああああああああああああああああああ!』

「悪いな。生憎お前の餌になる気ないんだ  
だからそれで勘弁してくれよ。ミートババア」

ナルトが冗談じみたセリフを吐く頃には既に死んでおり、その身体は茶色の煙となって蒸発した。彼はその光景を最後まで見届けると疲れを含んだ溜息を漏らし、その場を後にしていった。

ナンバー1 忍の少年(後書き)

感想待っています！

## 設定説明 世界観・妖魔・忍について

よう！ 俺は 妖魔の血 を材料に創られた忍具 紅丸 っていう名で、今はこの物語の主人公

『うずまきナルト』の相棒だ。ちなみに俺がどんな忍具かっていうと……まあ、それは次回からの

お楽しみってことにしてくれ。さて…俺が現われた理由は作者の奴に『この物語の細かい説明を

してくれ』って頼まれてな。不本意ながらいつちよ説明してやるぜ。

## 世界観について

まずこれだな。里や地名はほとんど原作と変わらないが原作にはない里や村…その他の地名が

何話か出てくるから気をつけてくれ。そしてこの物語の舞台、大帝国『大和』は日本と

同じ形状をしてやがるが、大きさはアメリカ大陸とほぼ同じで『幅』もそれなりにデカイ。

で、この大和っていう国には原作にもある五大国『火の国』『風の国』『水の国』

『土の国』『雷の国』があって、この五つの大国が大和を支えてくれるおかげで

大和は7000年前から現代に至るまで平和と繁栄が続いてるってワケだ。

そして忘れちゃいけないのが『木の葉ノ里』だ。

基本的にコレも原作と一緒にだが、原作には無いテレビや車がある…

…まあ流石に電車は無いがな。

## 妖魔について

闇を歩く者　ダークウォーカー、夜を歩く者　ナイトウォーカー、怪物、化け物、

魑魅魍魎、妖怪、魔なる者、古き異形なる者……『妖魔』の二つ名を上げればキリが無いね。

ま、二つ名はともかくとして　妖魔　についてたつぷりと説明してやるから、

ちゃんと見とけよ？

まず　妖魔　がどういった存在かって話だが……率直に説明すると妖魔を司り

人々を助ける良い奴も奴も少なからずいるが、その大半は残忍で悪徳を好むどうしようもない

馬鹿ばかりだ。だがさっきも言ったとおり妖魔のすべてが悪い奴ばかりじゃない。

良い妖魔で有名なのは『座敷わらし』とか『小豆洗い』、『唐傘お化け』の辺りだろう。

人と共存したり驚かすだけならいいが達の悪い妖魔は娯楽感覚で人間を殺したり、

殺しはしなくても人間を甘美な言葉で騙し、完全な悪人に仕立て上げると

同時にその様子を見て楽しむ……ハッキリ言わせてもらおうが趣味や嗜好が

最悪すぎる。あと妖魔には様々な型タイプがあつてな。

代表的なのが『寄生型』と『妖術タイプ』だな。

寄生型は人間に憑依して寄生した人間を自在に操り、『妖術タイプ』は

妖魔の中でも妖術に特化した奴が該当するな。まあ両方に共通していることは、

邪な妖魔なら達が悪すぎるってことだけだな。

忍について

まあ……これも全然原作と変わっちゃいないな。

ただどれだけ認知されてるのかわつてのが、原作とこの作品の違いだな。

この作品における忍っていうのは『人知れず妖魔を狩り、人々の平和を影から護る』

存在であつて『人知れず』の通り、大半の一般人は存在をまったく知らない。

だが忍の協力者である サポーター と呼ばれる一部の人間は、忍や妖魔の存在を認知している。

また、サポーター以外にも妖魔を召喚使役する『魔術者』っていう輩も

忍と妖魔の存在を熟知してる。

で、この作品の忍は原作同様『チャクラ』っていう精神エネルギーと肉体エネルギーを

合わせた特殊な力を使って『忍術』を行使する。

さて…ここでチャクラの属性について説明をするが大丈夫か？ 大丈夫ならしつかりと見とけよ

まず、チャクラの属性で最も一般的で『始祖属性』と呼ばれているのが『火遁』『風遁』

『水遁』『土遁』『雷遁』の『五大チャクラ属性』であり、

この五つ以外にも『木遁』『晶遁』『氷遁』『磁遁』『溶遁』『灼遁』『塵遁』など、

いろいろな属性があるんだな、これが。

俺が教えられるのは……こんなもんだな。

次回は俺が大活躍する予定だから、楽しんで見て貰えると嬉しいな。

そんじゃあな！ アディオス！！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9697x/>

---

NARUTO妖忍伝 あやかしにんでん 百鬼殺しノ巻

2011年10月28日07時15分発行